

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	快適な生活環境の実現（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	秋田県												
計画の目標	<p>市町村と協働で進める施設の広域化・共同化について、秋田湾・雄物川流域下水道（臨海処理区）と秋田市公共下水道（八橋処理区）の統合事業を進めており、令和2年度の供用開始を目指す。</p> <p>米代川流域下水道（大館処理区）大館処理センターを拠点に、広域化・共同化（3市3町1組合）による県北地区広域汚泥資源化事業を進めており、令和2年度の供用開始を目指す。</p> <p>また、H31年度からは、県南地区4市2町1村2組合の広域化・共同化を目指し、県南地区広域汚泥資源化事業を進めていく。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,278	A	5,278	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)
1	<p>臨海処理センターにおける水処理能力増強等の設備完成度を、0.0%（H28当初）から100.0%（R1末）にする。</p> <p>水処理能力増強等の設備完成度（%） 完成した設備数（箇所） / 全体計画設備数（箇所）</p>	0%	60%	100%
2	<p>大館処理センターに建設する広域汚泥資源化施設の設備完成度を、0.0%（H29当初）から100.0%（R1末）にする。</p> <p>県北地区広域汚泥資源化施設の設備完成度（%） 完成した設備数（箇所） / 全体計画設備数（箇所）</p>	0%	0%	100%
3	<p>県南地区の広域汚泥資源化に向けて、基本設計の完成度を0.0%（H29当初）から100.0%（R1末）にする。</p> <p>県南地区広域汚泥資源化事業の基本設計完成度（%） 基本設計策定（1式） / 基本設計の策定（1式）</p>	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

案件番号：

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果 備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	秋田県	直接	秋田県	終末処理場	新設	秋田臨海処理センター	水処理設備増強 23,000m3/日	秋田市		■	■	■	■	3,740		—	
	A07-002	下水道	一般	秋田県	直接	秋田県	終末処理場	新設	県北地区広域汚泥処理施設	汚泥資源化施設 22t/日	大館市			■	■	■	1,520		—	
	A07-003	下水道	一般	秋田県	直接	秋田県	終末処理場	新設	県南地区広域汚泥処理施設	基本設計	秋田県県南地区					■	18		—	
											小計						5,278			
											合計						5,278			

案件番号：

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

秋田県建設部下水道マネジメント推進課で取りまとめを実施

事後評価の実施時期

令和2年度

公表の方法

事業主体のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

【臨海処理区】

水処理能力増強等の設備が完成し、令和2年8月に秋田市の八橋処理区を流域下水道へ統合することができた。

【大館処理区】

県北地区3市3町の汚泥を集約し再資源化する広域汚泥資源化施設が完成し令和2年4月より供用開始している。

【県南地区広域汚泥資源化事業】

県南地区の4市2町を対象とした広域汚泥資源化に向けた基本設計が完成し関係団体との合意形成が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、県内市町村との連携を強め、時代の変化に対応した持続可能な事業運営に貢献する取り組みを展開していく。

案件番号：

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	目標値と実績値の差なし
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	100%	目標値と実績値の差なし
	最終実績値	100%	
3	最終目標値	100%	目標値と実績値の差なし
	最終実績値	100%	

案件番号：

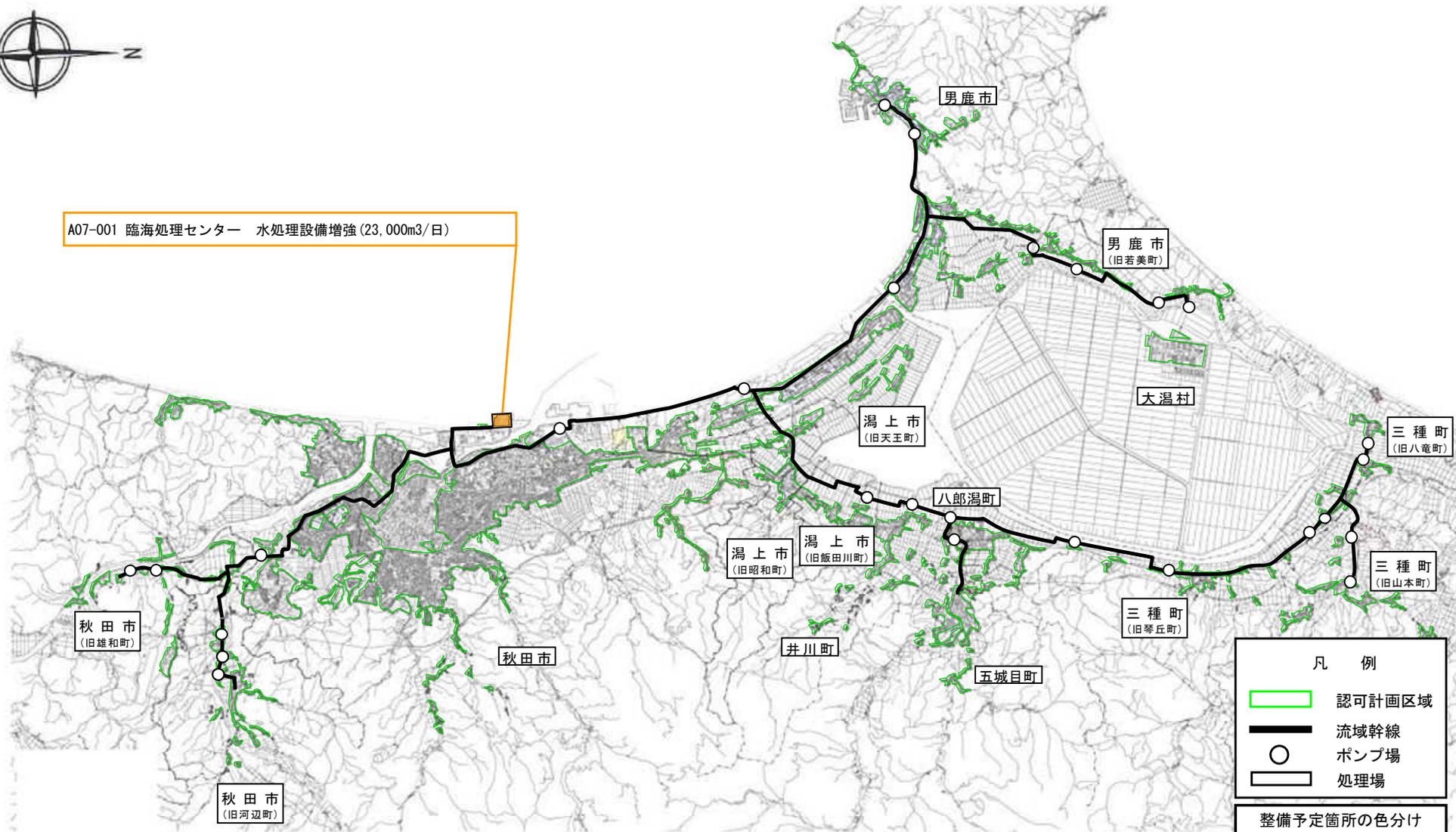
(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	3 快適な生活環境の実現 (重点計画)	交付対象	秋田県
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		

A7 臨海処理区



A07-001 臨海処理センター 水処理設備増強 (23,000m³/日)



凡 例

- 認可計画区域
- 流域幹線
- ポンプ場
- 処理場

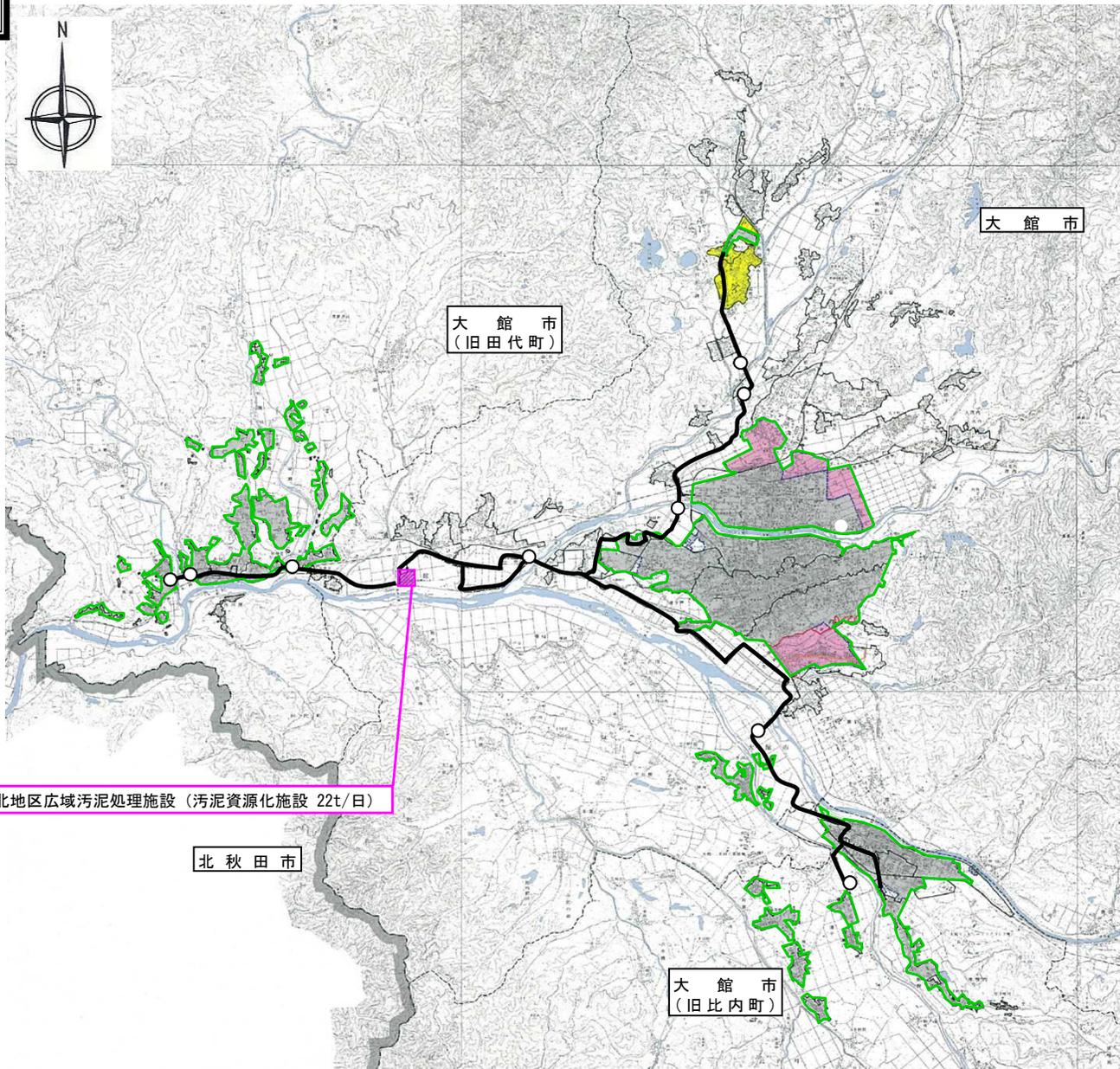
整備予定箇所の色分け

- 新 設
- 増 設
- 改 築

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	3 快適な生活環境の実現 (重点計画)	交付対象	秋田県
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		

A7 大館処理区



A07-002 県北地区広域汚泥処理施設 (汚泥資源化施設 22t/日)

凡 例	
	認可計画区域
	流域幹線
	ポンプ場
	処理場
整備予定箇所の色分け	
	新 設
	増 設
	改 築

